

## 可視化情報シンポジウム原稿見本

- ◆ 原稿は上下 247mm, 左右 172mm の中に納める.
- ◆ 表題は 3 行目から始める.

題名にはゴシックを用い, 主題 1 行は 27 文字以内,  
文字の大きさは 16 ポイント程度とする.\*

—副題は行を改めて 14 ポイント程度で記す—

可視化 太郎<sup>○</sup>(可視化情報大学), 情報 花子(可視化情報(株))

### An Example of the Manuscript for the Visualization Symposium Japan

—Subtitle—

Taro KASHIKA and Hanako JOHO

#### ABSTRACT

For the convenience of the authors, an example of the manuscript for the Visualization symposium Japan is shown. \*\*\*\*\*

\*\*\*\*\* 《 論文の場合, 150 語程度の英文 ABSTRACT 及び Key words を入れる. 文字の大きさは 10 ポイント程度とし, 字体は Century が望ましい. 行間は 1 行分 (シングルスペース) とする. 》 \*\*\*  
\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

**Keywords:** Visualization, Digital image processing, \*\*\*\*\*, \*\*\*\* \*, \*\*\*\*\*, \*\*\*\* \*

#### 1. 緒 論

これは可視化情報シンポジウム原稿第 1 ページの体裁見本となっている. 投稿の際, 著者は「**原稿投稿要領**」を熟読の上, できるだけこのような体裁に原稿を仕上げる.

#### 2. 文字及び改行

##### 2.1 文字の大きさと改行

著者名は 11 ポイント程度, 1 行に 36 字以内とし, これを越える場合は行を改める. 著者名欄は右寄せにする. 本文は 9 ポイント程度, 25 字 × 50 行, 2 段組とし, 段間は 10 mm 空ける.

章の間は 2 行空け, その中央に章名を 10 ポイント程度で記す. 節の間は行を空けない.

##### 2.2 字 体

原稿には次に示す字体又はこれらに準ずる字体<sup>1)</sup>を用いるのが望ましい. 題名, 章及び節名はゴシック, 本文は明朝. 英文題名, 著者名は Times New Roman, 本文中の英文は Century.

#### 3. 図 表

本文中の図表の表記にはゴシックの字体を用いる. 図表の見本を Fig. 1 と Table 1 に示す. キャプションは表の場合は上部に, 図の場合は下部に記す.

Table 1 Sample of Table



Fig. 1 Sample of Figure Arrangement

#### 参 考 文 献

- 1) 可視化太郎, 情報花子: 可視化情報学会における論文の書き方, 可視化情報, Vol. 100, No. 1000 (1998) pp. 11-12.
- 2) Kashika, T., Hanako, J.: An Example of the Manuscript for VSJ Journal, VSJ Journal, Vol. 10, No. 5 (1999) pp. 10-15.
- 3) Kashika, T.: Visualization Technique, VSJ Press, Tokyo (1997) pp. 1111-1125.

◆ 参考文献欄の文字は 8 ポイント程度.